

## Q 交通安全対策について

おおそねひであき  
大曾根英明 議員



## A 適切な対応に努めていく



**問** 交通事故件数の推移について。

**答** 平成28年が1727件、29年が1684件、30年が1700件、令和元年が1590件、2年が1459件である。

**問** 実施された交通安全対策と効果について。

**答** 市では、交通安全対策を最重要施策として掲げ、交通事故を減らす、死亡者をゼロにすることを目標に、道路や交通安全施設等の整備、交通安全の教育、啓発を積極的に推進している。その成果として、市内の交通事故発生件数は年々減少し、令和元年10月8日以降、死亡事故ゼロを継続している。

**問** 危険箇所の把握と対応について。

**答** 道路パトロールや総点検のほか、地域住民などから情報を得た上で、状況などを確認し、必要な安全対策を講じている。

**問** 今後の課題と要望への対応について。

**答** 交通安全対策を着実に推進するためには、ハード面とソフト面の両対策を道路管理者や警察と連携し、きめ細かく継続的に実施していくことが必要である。市民の皆さんからの要望にしっかりと向き合いながら適切な対応に努めていく。

## Q 未来を育てる教職員の の資質向上を願って 金泉婦貴子 議員



## A 教職員の不祥事根絶に全力で 取り組んでいく

**問** 教職員による不祥事や事故防止への取組について。

**答** 研修や意識啓発に取り組みほか、埼玉県作成のチェックシート<sup>①</sup>の活用、毎月の校長会での繰り返し指導など、教職員各々が責任と使命を自覚できるように取り組む。

**問** 体罰の把握について。

**答** 全教職員に注意喚起し、未然防止に全力で取り組んでいる。

**問** 教職員等による児童生徒性暴力等の防止に関する法律について。

**答** 法律が可決・成立したことを教職員一人ひとりが重く受け止め、自身の使命や責任の重さを改めて自覚し、性暴力が絶対

起こらないようにする。

**問** 事故を起こした教職員への処分について。

**答** 法令に基づき行われる。

**問** 再発防止と研修体制について。

**答** 指導主事が各学校の研修を参観し、自らの倫理観を高め、法令遵守に努めるよう指導、助言を行い、事故根絶を徹底する。

**問** 教職員の働き方について。

**答** 働き方改革を推進し、教育の質の維持向上に取り組んでいる。教員としての自信と誇りを持って教育活動を行えるようになり、事故の防止につなげる。

